PPPoE マルチセッション用の設定手順

フレッツグループアクセス 端末型払い出しでの接続方法 2 ~ GRE トンネルを利用した接続例 1 ~

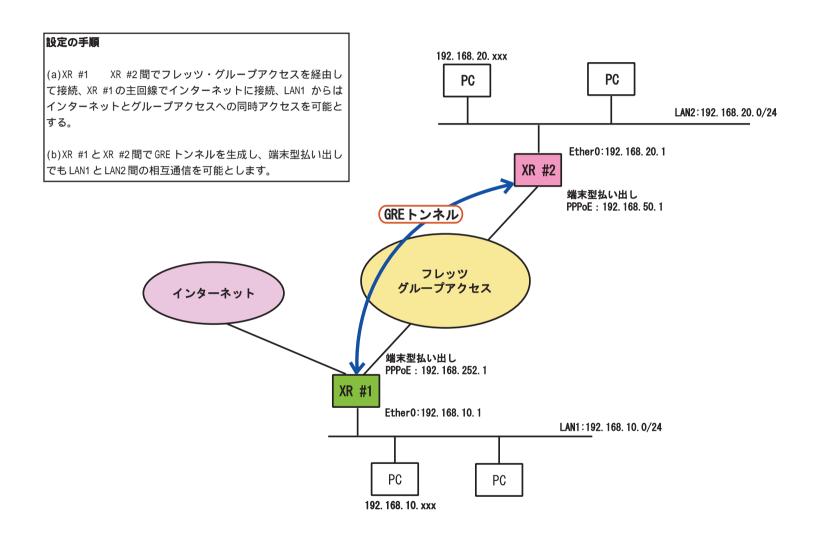
センチュリー・システムズ(株)

はじめに

この設定ガイドは、以下の機種に対応しています。

- XR-350/DES
- ・XR-360 シリーズ各製品
- XR-380/DES
- ・XR-410 シリーズ各製品
- XR-440/C
- XR-640/CD
- ・XR-1000 ファームウェア ver 2.0 以降
- XR-1000/TX4

この設定例は、インターネットへの接続とフレッツ・グループアクセス の利用を同時におこなう場合に必要な設定例です。 フレッツ・グループアクセス プロ 端末型アドレス払い出しとフレッツ・グループアクセスライトでの利用にお使いいた だける設定例となります。



[a-1]インターフェース設定

<XR #1の設定>

	固定アドレスで使用
	IPアドレス 192.168.10.1
	ネットマスク 255.255.255.0
	MTU 1500
	C DHCPサーバから取得
Ether Oポート	ホ자名
	MACTFLA
	□ Pマスカレード □ (このボートで使用するIPアドレスに変換して通信を行います)
	□ ステートフルパケットインスペクション
	Proxy ARP
	● 固定アドレスで使用
	IP7F L7 192.168.1.254
	ネットマスク 255.255.255.0
	MTU 1500
	C DHCPサーバから取得
Ether 1 ポート	ホ자名
Edier (W-1-	MACTFLZ
	IPマスカレード (このボートで使用するIPアドレスに変換して通信を行います)
	□ ステートフルパケットインスペクション
	Proxy ARP
	ポートの通信モード
	●自動 C full-100M C half-100M C full-10M C half-10M
デフォルトゲートウェイ	

<XR #2の設定>

	● 固定アドレスで使用
	IPアドレス 192.168.20.1
	ネットマスク 255.255.255.0
	мти 1500
	○ DHCPサーバから取得
Ether Oポート	ホル名
	MADTF LZ
	□ IPマスカレード (このポートで使用するIPアドレスに変換して通信を行います)
	□ ステートフルバケットインスペクション
	☐ Proxy ARP
	⑥ 固定アドレスで使用
	IPアドレス 192.168.1.254
	ネットマスク 255.255.255.0
	мти 1500
	C DHCPサーバから取得
	ホ
Ether 1 ポート	MAG7F LZ
	IPマスカレード (このボートで使用するIPアドレスに変換して通信を行います)
	□ ステートフルパケットインスペクション
	Proxy ARP
	ポートの通信モード
	●自動 Cfull-100M Chalf-100M Cfull-10M Chalf-10M
デフォルトゲートウェイ	

それぞれのLANに合わせて、EtherOポートのIPアドレス、ネットマスクを設定してください。

[b-1]PPPoE 接続先設定 1

<XR #1 の設定>

プロバイダ名	
ユーザロ	<isp接続のためのユーザーid></isp接続のためのユーザーid>
パスワード	<isp接続のためのパスワード></isp接続のためのパスワード>
DNSサーバ	○ 割り当てられたDNSを使わない ○ プロバイダから自動割り当て ○ 手動で設定 プライマリ
LCPキーブアライブ	チェック間隔 30 秒 3回確認出来なくなると回線を切断します 0秒を入力するとこの機能は無効になります
Pingによる接続確認	● 使用しない C 使用する 使用するホスト 発行間隔は30秒固定、空棚の時はPtP-Gatewayに発行します
Un	Numbered-PPP回袋使用時に設定できます
IPアドレス	回線接続時に割り付けるグロー バルIPアドレスです

接続先設定1にインターネット接続のための設定をします。

ユーザー ID とパスワード、DNS 設定など。

<XR #2の設定>

プロパイダ名	group access
ユーザル	〈グループアクセス接続のためのユーザーID〉
パスワード	〈グループアクセス接続のためのパスワード〉
DNS サーバ	○ 割り当てられたDNSを使わない ○ プロバイダから自動割り当て ○ 手動で設定 プライマリ セカンダリ
LOPキープアライブ	チェック間隔 30 秒 3回確認出来なくなると回線を切断します 0秒を入力するとこの機能は無効になります
Pingによる接続確認	● 使用しない C 使用する 使用するホスト 発行間隔は30秒固定、空間の時はPtP-Gatewayに発行します
Ui	Numbered-PPP回線使用時に設定できます
IPアドレス	192.168.50.1 同数接続時に割扱けけるグロースルピアドルファオ

接続先設定1にフレッツグループアクセス接続のためのユーザーIDとパスワードを設定します。

さらに、フレッツグループアクセスで割り当てられる IP アドレスを設定してください。

[b-2]PPPoE 接続先設定2

<XR #1の設定>

プロパイダ名	group access
고 - ザロ	くグループアクセス 接続のためのユーザーID>
パスワード	〈グループアクセス接続のためのパスワード〉
DNSサーバ	○ 割り当てられたDNSを使わない ○ プロバイダから自動割り当て ○ 手動で設定 プライマリ セカンダリ
LOPキーブアライブ	チェック間隔 30 秒 3回確認出来なくなると回線を切断します 0秒を入力するとこの機能は無効になります
Pinglによる接続確認	● 使用しない C 使用する使用するホスト発行間隔は30秒固定、空棚の時はPtP-Gatewayに発行します
Uni	Numbered-PPP回鉄使用時に設定できます
IPアドレス	192.168.252.1 回線接続時に割り付けるグロー バルIPアドレスです

接続先設定2にフレッツグループアクセス接続のための設定をします。ユーザーIDとパスワードを設定します。

さらに、フレッツグループアクセスで割り当てられる IP アドレスを設定してください。

[b-3]PPPoE 接続設定

<XR #1 の設定>

回袋状態	主回線で接続しています
接続先の選択	€接続先1 €接続先2 €接続先3 €接続先4 €接続先5
接続ポート	CEtherO © Ether1 CBRI(64K) CBRI MP(128K) CRS232C
接続形態	○ 手動接続 ○ 常時接続 ○ スケジューラ接続
BRI接続タイプ	● 通常 C On-Demand接続
IPマスカレード	○無効
ステートフル パケット イン スペクション	ℂ無効 €有効
デフォルトルートの設定	○無効

主回線が自動的にデフォルトゲートウェイに設定されますので、ISP接続を主回線、グループアクセス接続をマルチ接続に設定します。接続先は「接続先1」を選択し、IPマスカレードは必ず[有効]に設定してください。

<XR #2の設定>

回袋状套	主回袋で接続しています
接続先の選択	○接號先1 ○接號先2 ○接號先3 ○接號先4 ○接號先5
接続ポート	C Ether0 C Ether1 C BRI(64K) C BRI MP(128K) C RS232C
接続形態	○ 手動接続 ○ 常時接続 ○ スケジューラ接続
BRI接続タイプ	© 通常 C On-Demand接続
IPマスカレード	●無効 C 有効
ステートフル パケット イン スペクション	С無効 € 有効
デフォルトルートの設定	○無効 • 有効

接続先は「接続先1」を選択します。 端末型接続ですが GRE を使用しますので、IPマ スカレードは[無効]にします。

[b-4]PPPoE 接続設定 マルチ接続回線

<XR #1 の設定>

マル ₹PPP/P	PPoEセッション機能を利用する際は以下を設定して下さい
マルチ接続 #2	€ 無効
接続先の選択	○接続先1 ●接続先2 ○接続先3 ○接続先4 ○接続先5
接続ポート	CEtherO CEtherl CBRI(64K) CBRIMP(128K) CRS232C
BRI接続タイプ	● 通常 C On-Demand接続
IPマスカレード	€無効 С有効
ステートフル パケット インスペクション	C無効 € 有効

マルチ接続 #2 を「有効」に設定して、接続先は「接続先2」を選択して下さい。 端末型接続ですが GRE を使用しますので、IP マスカレードは[無効]にします。

マルチ接続側は、フレッツグループアクセスに接 続する設定にしています。

<XR #1 の設定>

インタフェー スアドレス	192.168.250.1/30 (例:192.168.0.1/30)
リモート(宛先)アドレス	[192.168.50.1] (例:192.168.1.1)
ローカルG差信元/アドレス	[192.168.252.1] (例:192.168.2.1)
PEER7F レス	192.168.250.2/30 (例:192.168.0.2/30)
TTL	255 (1-255)
мти	[1476] (最大値1476)
TOS設定	TOS値の指定 (0x0-0xfe)C inherit(TOS値のコピー)
GREoverIPSec	○ 使用する ipsec0 ▼ ○ Routing Table に依存
IDキーの設定	(0-4294967295)
End-to-End Checksumming	C 有効
MSS設定	C 有効 ● 無効 MSS値 □ Byte (有効時にMSS値が0の場合は、 MSS値を自動設定(Clamp MSS to MTU)します。)

インターフェースアドレス、PEERアドレスはGREトンネル生成用の仮想 IP アドレスを設定します。

この設定例では192.168.250.1/32をインタフェースアドレス、192.168.250.2/32をPEER アドレス(XR #2 のインタフェースアドレス)としています。

リモートアドレスには XR #2、ローカルアドレスには XR #1 に実際に割り当てられている IP アドレスを設定します。 (画面は XR-380/DES のものです)

<XR #2の設定>

_	
インタフェー スアド レス	[192.168.250.2/30] (例:192.168.0.1/30)
リモート(宛先)アドレス	192.168.252.1 (例:192.168.1.1)
ローカルG送信元アドレス	192.168.50.1 (柳:192.168.2.1)
PEERアドレス	192.168.250.1/30 (網:192.168.0.2/30)
TTL	255 (1 -255)
мти	1476 (最大値 1476)
TOS設定	● TOS値の指定 (0x0-0xfe) ○ inherit(TOS値のコピー)
GREoverIPSec	○ 使用する ipsec0 ▼ ○ Routing Table Li依存
IDキーの設定	(0-4294967295)
End-to-End Checksumming	○ 有効 ・ 無効
MSS設定	C 有効 ● 無効 MSS値 D Byte (有効時にMSS値が0の場合は、 MSS値を自動設定(Clamp MSS to MTU)します。)

192.168.250.1/32をPEERアドレス(XR #1のインタフェースアドレス、192.168.250.1/32をPEERアドレス(XR #1のインタフェースアドレス)に設定します。

リモートアドレスにはXR #1、ローカルアドレスにはXR #2に実際に割り当てられているIPアドレスを設定します。

(画面は XR-380/DES のものです)

[d]入力フィルタ設定

<XR #1 の設定>

<XR #2の設定>



マルチ接続側でステートフルインスペクションを 有効にしているときは、入力フィルタを設定して ください。

インタフェースは「PPP/PPPoE - **マルチ#2**」を 選択します。

プロトコルは「gre」を選択します。

インターフェース	gre No. <1-64>		動作	プロトコル	送信元アドレス	送信元ポート	あて先アドレス	あて先ポート
PPP/PPPoE-マルチ#2 ▼		パケット受信時	許可💌	gre 💌				

マルチ接続側でステートフルインスペクションを 有効にしているときは、入力フィルタを設定して ください。

インタフェースは「PPP/PPPoE - **主回線#1**」を 選択します。

プロトコルは「gre」を選択します。

[e]スタティックルート設定

<XR #1 の設定>

ホスト/ネットワーク フ	アドレス ネットマスク	インターフェース	gre No. <1-64>	ゲートウェイ	ディスタンス <1-255>
ホスト 👤 192.10	68.50.1	PPP/PPPoE-マルチ#2 ▼			1
ネットワーク 🔻 192.10	88.20.0 255.255.255.0	GRE[右欄gre No.必須] ▼	1		1

デフォルトルートは主回線接続側に向いているため、その ままではフレッツグループアクセスの対向拠点に対してア クセスできません。

したがいまして、対向拠点へのスタティックルート設定を 追加してください。

1つ目に、GREパケットをXR #2に転送するためのルーティングの設定をします。「ホスト」を選択し、XR #2のIPアドレスを設定します。インタフェースは「PPP/PPPOE ーマルチ#2」を選択します。

2つ目に、LAN1 と LAN2 間の通信を GRE 経由にするための ルーティング設定をします。「ネットワーク」を選択し、 LAN2 のネットワークアドレスとサブネット値を設定します。またインターフェースは「gre」を選択し、greNo. を 「1」に設定します。

<XR #2の設定>

No.	ホスト/ネットワーク	アドレス	ネットマスク	インターフェース	gre No. <1-64>	ゲートウェイ	ディスタンス <1-255>	削除
1	ネットワーク	192.168.10.0	255.255.255.0	GRE[右欄gre No.必須]				

LAN1 と LAN2 間の通信を GRE 経由にするためのルーティング設定をします。「ネットワーク」を選択し、LAN1 のネットワークアドレスとサブネット値を設定します。またインターフェースは「gre」を選択し、greNo. を「1」に設定します。

以上ですべての設定は完了です。設定後に PPPoE 接続を開始してください。

この設定例では、端末型払い出しでも、LAN間の相互通信が可能となります。

フレッツグループアクセス 端末型払い出しでの接続方法 2 ~ GRE トンネルを利用した接続例 1 ~ 2004年1月版

発行 センチュリー・システムズ株式会社 2001-2004 CENTURYSYSTEMS, INC. All rights reserved.